

令和４年度第二回橿原市環境審議会議事録

会 議 名	令和４年度第二回橿原市環境審議会
開催日時	令和４年１２月２日（金） 午後３時～ ４時１０分
開催場所	クリーンセンターかしはら ３階研修室
出席委員	久会長、北浦副会長、楨村委員、和多田委員、紙本委員、当麻委員
欠席委員	刈脇委員、浦澤委員、山田委員
事 務 局	環 境 部：高橋部長、広瀬副部長、新田副部長 環境政策課：吉川課長、西村課長補佐、梶井係長、東主査、吉村主査 環境施設課：瀬尾課長 収集業務課：新田副部長（兼課長） 資源循環課：吉川課長
次 第	１．開会 ２．議事 ・ 橿原市環境総合計画の改定について ３．閉会 <u>（配布資料）</u> 次第 【資料１】 橿原市環境総合計画（案） 【資料２】 今後のスケジュール
会議の公開/非公開	公開
傍聴	０人
担当部署 （事務局）	環境部 環境政策課 〒634-8586 奈良県橿原市八木町 1-1-18 TEL：0744-47-3511 ／ FAX：0744-24-9716 E-mail： kankyoseisaku@city.kashihara.nara.jp

次第 1 : 開会

次第 2 : 議事

樫原市環境総合計画の改定について、資料 1 を用いて事務局から説明。

<以下、本議題における質疑内容>

(委員)

「第 2 章 樫原市を取り巻く環境の現状」「1 世界や国の環境対策と社会情勢」「(3) 食品ロス」について、『令和 12 (2030) 年度までに家庭からの食品ロスを半減するとの目標が定められました』と記載していただいている。これについて、事業に伴う食品ロスについての記載はしないのか。

(事務局)

市の取り組みとしては、家庭はもちろん、事業者も対象としておりますので、表現について再考させていただきます。

(委員)

基本目標 1「脱炭素社会の構築と気候変動への適応」での指標を樫原市地球温暖化対策推進実行計画で定める指標と位置付けている。この指標は市役所におけるものであるが、今後、市域を対象とした指標を策定されるのか。

(事務局)

区域施策編として、策定していきたいと考えております。

(委員)

この環境総合計画の進行管理については、どのようにしていくのか。

(事務局)

環境総合計画に紐づく個別計画の指標等の達成状況について、環境審議会で報告させていただき、そこでいただいた意見を次年度の取り組みに活かし、PDCA サイクルを回していきたいと考えております。

(委員)

取り組みの欄に区域施策編の策定について、掲載されてはどうか。

（事務局）

どのように掲載するかも含め、検討させていただきます。

（委員）

地球温暖化対策という観点で言えば、ごみ焼却施設における余熱利用は非常に素晴らしいと思うので、もっと PR をしていけたらいいと思う。また、「健康への影響に関する対策の推進」として、建物の断熱等は有効であるので、積極的に推進していただきたい。

（事務局）

ご指摘の点は、計画に盛り込んでおりますので、市域全体、庁内に推進していきたいと考えております。

（委員）

この環境総合計画内には、目標値を設定されないのか。

（事務局）

環境総合計画に目標値を設定することで、国が指標を変更するたびに、環境総合計画や個別計画のどちらの目標値について見直す必要性が生じてしまいます。

したがって、今回の環境総合計画では、市の環境政策の方向性を示すものとし、個別計画において具体的に目標値を設定するものとしたしました。

（委員）

環境総合計画に関係する橿原市第 4 次総合計画の指標も追いかけていきたいし、施策と個別計画の指標の対応関係も確認したいと思う。来年度、進捗管理をする際には、そのあり方についても考えていけたらと思う。

（委員）

プラスチックごみについての市の考え方が知りたい。

（事務局）

プラスチックごみの分別収集には、専用設備が必要となり非常に経費がかかります。財政状況が厳しいこともありますので、今後の他自治体の動向などについて調査、検討を加えた上で判断していきたいと考えております。

（委員）

環境啓発について、市民が自らホームページを閲覧しなければ、情報が得られない。例えば、自治会や気候市民会議といった手法等といったように、市民が自ら学ぶことができるような取り組みについて教えてほしい。

（事務局）

市民協働団体と協力しながら出前講座を行いたいと考えております。

（委員）

学校における今後の環境教育について、近畿 ESD コンソーシアムの拠点づくりに関して、今後、市教育委員会と協力して、どのような取り組みを行うのか教えてほしい。

（事務局）

引き続き、環境に関する授業を行うこと、リモート対応で講座を行うこと等により、多くの子どもたちに環境教育ができればと考えております。

（委員）

学校における環境教育の推進に「近畿地方の ESD 推進の拠点づくりを行う」とあり、近畿地方の拠点を作ることは良いことではある。しかし、過大すぎる目標を掲げているとも思われるが、この表現は正しいのか。

（事務局）

表現に誤りがあるかもしれませんので、再度、担当課に確認をとります。

（委員）

橿原市はごみ分別アプリをいち早く導入されており、素晴らしいと思う。ごみ焼却による余熱利用はよいことだが、ごみの減量がおろそかになってはいけない。

（事務局）

ご指摘のとおり、市としてもごみの減量を重要と考えており、今回の計画では4Rの普及・啓発を推進していくものとしております。なお、ごみの量は5年前と比較して、10%近く減少しており、ごみの減量政策は効果をあげているのではないかと考えております。

（委員）

先生方に対する環境を学ぶ機会の提供についても記載されてはどうか。

（事務局）

掲載を検討いたします。

（委員）

歴史景観保護のための規制の取り組みについて、もう少し文章をコンパクトにしてもよいと思われる。また、最近では、景観分野では誘導という言葉が用いられる。施策、取り組みの表題についても、歴史景観保全のための誘導、景観保全の推進とするのがよいと思われる。

る。

（事務局）

修正させていただきます。

（委員）

気候変動への適応の施策について、地球温暖化対策のうち、温室効果ガス排出量を削減する緩和策と比べ、気候変動の悪影響を軽減する適応策については市民に馴染んでいない。下部に2つの概念を併記したコラム等を付した方が読者にとってわかりやすいと思う。

（事務局）

記載させていただきます。

（委員）

景観についても、本計画のPDCAの対象になるか。

（事務局）

重要と思われる指標があれば、事務局よりお示ししたいと考えております。

（会長）

そろそろ意見も出尽くしたことと思いますので、審議を終了したいと思います。事務局から他にお伝えいただくことはありますか。

資料2 今後の事務の流れについて説明

（委員）

本日の会議で出た意見を反映させた計画案については、パブリックコメントにかける前に委員に示してもらえるのか。

（事務局）

変更点については、データ等でお示ししたいと思います。

（会長）

本日いただいたご意見を受け修正した計画案については、事務局よりパブリックコメント前に各委員にお示しされるということです。なお、その際にいただいたご意見の取り扱いについては、期日も差し迫っておりますので、私の取りまとめにお委ねいただきたいと思います。

それでよろしいでしょうか。

(各委員了承)

(会長)

パブリックコメントでいただいたご意見及びご意見を反映して修正した計画案を次の審議会においてお示ししたいと思います。そのときにはまた、皆様のご意見をいただけましたらと思います。

次第３：閉会

(会長)

これにて、樫原市環境審議会を閉会いたします。お疲れ様でございました。